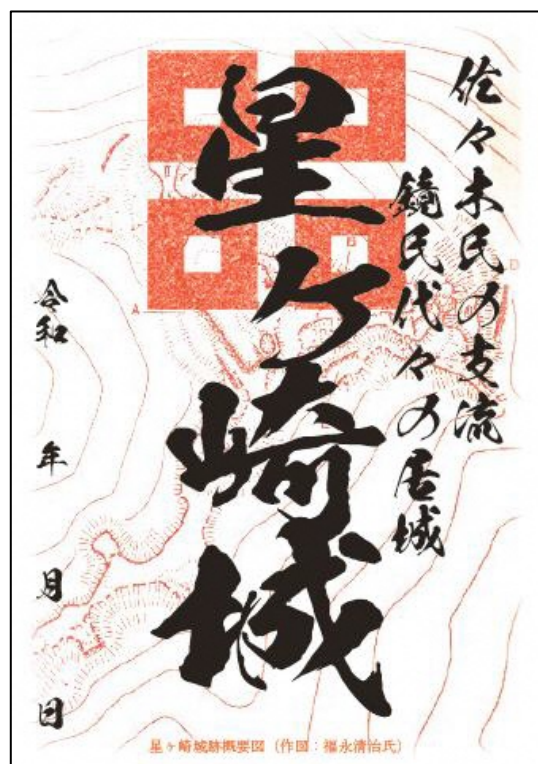
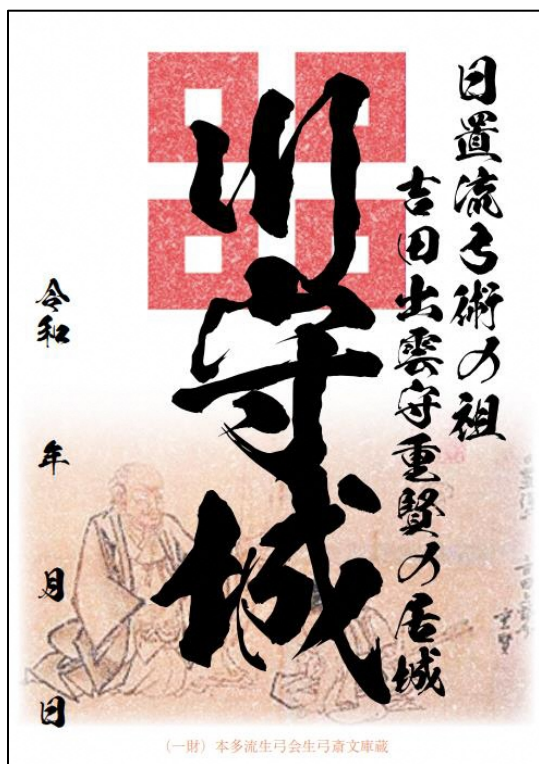


竜王町の東に位置する「川守城址」

西に位置する「星ヶ崎城址」の御城印を作製しました。



御城印とは、お城の御朱印や、お城の記念スタンプのようなもので、竜王町では、日置(へき)吉田流弓術の祖 吉田出雲守重賢の居城『川守城』と、佐々木氏の支流 鏡氏代々の居城 『星ヶ崎城』の御城印を作製しました。

#### 「川守城址」

川守集落のほぼ中央には川守城址（吉田城址）があったと言われています。

川守城主であった吉田氏は近江源氏・佐々木六角氏に仕え代々弓馬の武功に名高い一族でした。その11代目の吉田出雲守重賢は、近代弓術の基礎「日置吉田流」を完成・発展させました。

現在は江戸時代の文献に「吉田出雲守重賢居宅跡」と記されている小祠城八幡とわずかに土塁の跡が残されています。

#### 「星ヶ崎城址」

近江守護佐々木定綱の孫久綱は鏡正を領有し鏡氏と名乗りました。星ヶ崎城は鏡氏の城で久綱以降鏡氏が途絶えるまでここを居城としました。観音正寺の城の出城、もしくは砦ともいわれていたもので、昔を偲ぶ石垣と礎石らしきものが残っています。城址まで登ると東西に走る国道8号線(旧中山道)を見下ろすことができ、軍事上要害の地とされていたと思われます。

道の駅竜王かがみの里から、ハイキングコースがあり美しい石垣を垣間見ることができます。

お買い求めは竜王町観光協会まで各300円(税込)です。